

終了報告書

留学プログラム名	Campus Asia program					
所属（本学）	工学部 社会工学科					
現在の学年	学部 3 年					
留学先国	韓国					
留学先大学	KAIST					
留学期間	2017 年	8 月	23 日～	2017 年	12 月	15 日

① 留学先大学の概略

KAIST は東工大と同じように、理系だけの大学です。学生の雰囲気も近いので馴染みやすいと思います。大きく違うところといえば、授業がすべて英語で行われているところです。そのおかげでみんな英語に慣れており、困ったときは近くにいる学生や教授に尋ねたらとても親切に教えてくれます。ただし、コンビニの店員さんやドミトリの Supervisor さんは英語があまり通じないので、用事があるときはボディランゲージか Google translate を使って頑張りましょう。

また、キャンパスがものすごく広く多くの学生が校内を自転車で移動しています。修士や博士課程の学生、教授は車で移動する方も多いです。ほとんどの学生がキャンパス内のドミトリに住んでいるため、学食やジムなどの設備が充実しています。さらに、キャンパス内にコンサートホールやカラオケもあるので、息抜きに活用できます。

② 留学前の準備

研究室配属について:

KAIST にいるキャンパスアジアのコーディネーターさんが交渉してくださるので、事前に彼女に指定の希望表と研究プランを提出するだけで大丈夫です。自分で交渉する必要はありません。(東工大で所属している研究室とコネクションがある教授がいらっしゃるなら、事前に個人的にやり取りしていいかと思いますが、その旨は Sejin さんに伝えたほうがいいと思います。)

所属先が決まったと Sejin さんから教えていただいたら、教授にメールを送ってやり取りを始めます。



<Sejin さんとの写真>



<研究室メンバーとの写真>

学士論文研究について:

留学中に行う研究を卒論にするかどうか決めていなかったため、留学前は何もしていませんでした。ただ、その研究を卒論にすることはできるのか、ということ学科長に伺ったところ、それは所属する(東工大の)研究室の先生次第と言われました。もし学部3年で留学し、KAIST で研究をはじめて東工大でもそれを続けたい場合は、事前に東工大の研究室を訪問し、その旨を相談することをおすすめします。あとは、相談先の研究室に所属できることを祈って、留学を精一杯楽しみましょう。

就職活動について:

わたしは学部就職を希望しているので、就職活動が始まる前に帰ってこられることを前提に留学先を選びました。また、インターンシップや説明会の案内が届いたら、その写真を送ってくれるよう母に頼んでありました。

留学情報の入手方法:

留学をする、と決めた次の日に留学情報館を訪れ、どんな留学プログラムがあるのかを教えてくださいました。留学に行ける期間がとても限られていたので、専門分野と期間以外は条件を付けずに探しました。そのおかげで、CAMPUS Asia を見つけることができました。

留学というと、英語圏を真っ先に考えてしまいがちですが、アジアやそれ以外の国々への留学もとてもいい経験になると思うので、はじめは広く留学先を探すほうがいいと思います。

専門分野・語学の準備方法:

特に何もしていません。日程的に東工大で行われた韓国語講座にも出席できなかったのですが、とりあえず初心者向けの韓国語のテキストと、るるぶを買っていきました。それでも何とかなりました。ただ、ハングルを読めていたら、空港でももう少し余裕が持てたかなとは思いますが。

留学先大学の指導教員との準備:

研究室の教授とは事前にメールで連絡を取りましたが、研究内容については、到着してから話し合おうと言われたので、ざっくりと研究してみたいテーマは考えていましたが、完全には決めていませんでした。

持ち物なども、分野的にあまりないので、統計の教科書とラップトップだけ持っていきました。実験を行う分野の方は、白衣や作業着、その他必要なもの一式持っていったほうがいいと思います。

ビザ取得方法、住居の探し方など:

KAIST にいらっしゃるコーディネーターさん(Sejin さん)がビザの取得に必要な書類を送ってくださいます。その書類と、規定の写真を持って大使館/領事館に行けばビザが取得できます。ただし、わたしが行った領事館は開いている時間がかなり限られていたのと、職員の方があまり日本語を話せなかったのが、意思疎通が少し大変でした。また、ビザの取得には 1 週間くらいかかり、その間パスポートは領事館に預けることになるので、余裕をもって申請しましょう。

住居に関しても特に何も心配する必要はありません。Sejin さんが必要な書類に関するメールを送ってくださるので、それをちゃんと提出すれば、KAIST のほうで部屋を振り分けてくれます。2 人 1 部屋ですが、わたしはなぜかルームメイトが来ませんでした。名簿には名前があったのに不思議です。基本的には同じ国の同士がルームメイトなるみたいですが、日本人はほぼいないので、他国の方と一緒にいると可能性が高いと思います。

③ 留学中の勉学・研究

授業登録:

Research-oriented program だから専門科目は履修できないということでした。韓国語の授業は no credit でよければ受けられるということで受けてきました。毎月ありますが、わたしは 9 月と 10 月だけ履修しました。11 月は 10 月の内容が難しすぎて諦めました。9 月はほぼ全員が韓国語初心者だったのに、10 月はわたし以外みんな 1 年以上韓国語を勉強されていました。初心者向けの韓国語講座はぜひ履修することをお勧めします。キャンパスを一步出ると韓国語しかないので、多少慣れておいたら少し焦りが消えます。

授業や研究方法についての感想:

韓国語の授業は 5 つの評価基準があり、9 月はすべて A 評価を頂けましたが、10 月は 4 つの項目で B、発音は C 評価でした。今までにほとんど触れたことのなかった韓国語を学ぶのは、新鮮でとても面白かったです。

研究はラボの先輩方がいつも気にかけてくださって、参考になりそうな資料を教えてくださいました。特に困ることなく進めることができました。

また、研究だけでなく韓国についていろいろなことを教えてくださいました。いつも気にかけてくださいました。そのおかげで、あまり不自由することなく生活できました。



<授業メンバーとの写真>

④ 留学中に行った勉強・研究以外の活動

毎月の活動報告書がほぼ研究以外の報告なので、それをお願いします。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

英語で話すときに間違えることをためらわなくなりました。日本人がほぼいない(早稲田大学から 1 人来ていましたが、ご両親が韓国人で韓国国籍の彼は韓国語がペラペラでした。)環境だったこともあり、大げさではなく自分が動かなければ何も起こらない状況でした。留学生同士で大人数で話しているときは、みんなが話す言葉を理解するだけで精一杯で自分からはなかなか話せませんでした。しかし一対一で話すときは相手も私の英語が拙いことを察してゆっくり話してくれますし、足りないところも多いであろう私の言葉もちゃんと聞いてくれます。そんなみんなのおかげで、スピーキング面は精神的にかなり成長できたと思います。

また、韓国語という全く読めない、話せない言語に囲まれた生活ではじめはとても戸惑いましたし、不安なこともたくさんありました。しかし、意外とボディランゲージで何とかできます。ごはんを食べに行く時も、しっかり店員さんを見て話を聞くと、言葉はわからなくても表情でなんとなく伝わりますし、笑顔でカムサハムニダ(ありがとう)といえば、美味しかったという気持ちも伝えられるということを学びました。

⑥ 留学費用

渡航費:

東工大の担当の方が手配して下さるので、飛行機のチケットに関しては何もする必要はありませんでした。自宅⇄空港、空港⇄KAIST の移動費だけでした。

奨学金:

KAIST から毎月 800000 ウォン(約 8 万円)の奨学金をいただきました。ここからドミトリー費が引かれますが、月 600000 ウォン(約 6 万円)くらいは自由に使えました。奨学金は韓国で作った銀行口座に、9 月に一括で 4 か月分振り込まれました。

生活費:

基本的に食費くらいしかかかりません。Cafeteria で食べれば 1 食 5000 ウォン(500 円)くらいです。キャンパス外に出たら 8000~15000 ウォン(800~1500 円)くらいかかります。ごはんの価格は日本と同じか少し安いくらいだと思います。

洗濯用の洗剤やシャンプー・コンディショナーなどの日用品は KAIST 内のお店や近くのスーパーで買えます。日本と同じくらいの価格です。

住居費:

660000 ウォン(66000 円)/1 セメスター

まくら & 布団: 50000 ウォン(5000 円)/1 セメスター

保険:

大学で紹介される保険のプラン K を選びました。

保険料 : 47,450 円

危機管理費 : 5,832 円

健康診断費:

これは、4月に大学で行われる定期検診を受けておけば必要ありませんが、わたしはさぼっていたので、自分で近くの病院に受けに行かなければならず、5000円くらいかかりました。

まとめ:

旅行に行ったり、SIMカードを買ったり、自転車を修理したりでいろいろとお金がかかりました。最終的に、使ったお金は、

@韓国

3,200,000won(奨学金) + 500,000 ウォン(日本で両替して持って行きました)

@日本

53,282 円(保険料等) + 5000 円(健康診断) + α(交通費、お土産など)

自分自身の出費は合計 10 万円くらいでした。ほかの留学プログラムと比べてかなり少ないと思います。キャンパスアジアは金銭的な援助が素晴らしいです。(カナダへの語学留学は往復の飛行機だけで 15 万円くらいかかりました。)

⑦ 留学先での住居

ドミトリー生活でした。たぶんキャンパス内に住めると思います。2 人部屋でしたが、ルームメイトはいませんでした。普通はいると思います。夏はエアコン、冬は床暖が使えるので室内は快適です。マットレスの上に敷く敷布団、掛布団、枕は借りられますが、カバーなどはないので気になる方は持って行ったほうがいいかも。わたしは近くのスーパーで枕カバーだけ買いました。

キャンパス内にはいくつものドミトリーがあって、場所によってかかる費用が違います。私が使っていた NaraeHall はトイレとシャワーが各部屋についているので、少し高めでした。それらが共有のところはもう少し安いみたいですが、最初のセメスターは住むところは選べません。2 セメスター目以降は好きな寮が選べます。ルームメイトも選ぶこともできます。洗濯機は奇数階に 2 台ずつありました。偶数階にはテレビと電子レンジとウォーターサーバーがある休憩室があります。また、大きいドミトリーにはジムがありいつでも利用できます。1 回には夜だけ開いているコンビニがあるところもあります。

KAIST 生は夜型なので、夜中の 3 時ごろまで人が出入りする音が廊下から聞こえてきたりするので、気になる人は何か対策したほうがいいかもしれません。



<借りられるまくら等(カバーなし)>



<部屋の様子(NaraeHall)>

⑧ 留学先での語学状況

KAIST 内はみんな英語が話せるのでなにも問題ありません。授業は取っていませんでしたが、全部英語で行われるそうです。テストとレポートについては、出題は英語、回答は英語または一部の先生は韓国語でも OK らしいです。

ただし、英語のレベルは教授によります。先生の英語があまり上手ではなく、何を言っているかわからないと言っている留学生もいました。また、生徒が韓国で質問することがあり、そういうときも理解できないので困ると言っていました。

⑨ 単位認定、在学期間

単位認定を行うつもりはなかったのですが、韓国語の授業でちゃんと評価書を頂けたので、帰国後に相談して、もしできるようであれば、単位申請したいと思っています。

⑩ 就職活動

わたしは日本での就職を希望しているので、韓国にいるからこそできること、などは特にありませんでした。もし海外で就職を希望されているなら、企業訪問などしてみたらいい経験になると思います。

就活生の私には、就活用の写真が必要だったのでソウルで撮りました。韓国は技術が高くて安いのでおすすめです。また、インターンシップのエントリーが 11 月半ばから始まるので、留学中にいくつかエントリーしました。また、外資系企業の本選考も 12 月から始まったので、エントリーしました。エントリーに伴い、自己分析や企業研究なども始めました。基本的に全部パソコンでできますが、インターンシップの日程だけでなく、面接やグループディスカッションの日程なども帰国後でなければならないので注意が必要です。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

特にありません。言葉が通じませんし、その時々で大変なことはあった気がしますが、特に思い出せないので、案ずるより産むがやすしという言葉があるように、やってみたら何事ともなるとかなったのだと思います。

スリとぼったくりの被害には遭いそうになりましたが、どちらも幸運なことに盗られた大丈夫でした。(被害の概要を一応書いておきます。)

1 つ目は、スリに遭いました。雨の日の午後、明洞の地下鉄出入り口付近で、雨宿りするために多くの人が入り口付近にたまっているところを通るときに、コートのポケットからスマートフォンをすられました。私は全く気が付きませんでした。数メートルほど歩いたところで後ろから 50 代くらいのおじさんに声をかけられ、私のスマートフォンを渡されました。韓国語だったので何を話していたかはわかりませんでした。スリの瞬間を見かけて親切に取り返してくれたみたいです。

2 つ目は、ぼったくられました。紅葉を見に行ったら帰り、タクシーで山ふもとから駅まで帰ることにしました。時間にして 15 分程度だったので普通なら 10000won(約 1000 円)ほどのはずが、乗った時にメーターが壊れているから概算で請求するといわれて、最終的に倍額の 20000won を請求されました。4 人で乗っていたので日本円で 1 人 500 円くらいと、そこまでの被害ではありませんでした。いい勉強になりました。

人数が多かったためタクシーを 2 台呼んだのだが、もう一方のタクシーもメーターを止めていたらしく、しかもそちらは 80000won 請求されたらしいので笑えません。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学はお金も時間もかかりますし、いろいろ心配なことも浮かんでくると思います。海外の大学に行くことが自分にとって良い思い出になるか、つらい思い出になるかは行ってみないとわかりません。だから、直感でスパッときめてもいいし、いっぱい考えて悩んでもいいと思います。ただあまりダラダラしていると、卒業単位や研究室所属、院試・就活など避けられない事態が迫ってくるので、そこはちゃんと考えましょう。

最後に、わたしにとって KAIST での経験はとてもいいものになりました。たくさんの人と出会い、たくさん思い出を共有することができました。これから留学する皆さんにとっても、その留学が充実したものになることを祈っています。頑張ってください。